



2025年1月期（41期） 第2四半期（中間期）決算説明資料

株式会社ACCESS（4813）

2024年8月

ACCESS™

©ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

Agenda

1. 2025年1月期（41期）
第2四半期（中間期）業績
2. 事業概況
3. 通期業績予想（再掲）
4. Appendix

売上高 **8,059**百万円 前年同期比
+19.6%

営業損益 **▲650**百万円 前年同期比
+475百万円

- ・ ネットワーク事業の売上高が好調に推移
- ・ 全セグメントにおいて前年比で損益改善

01

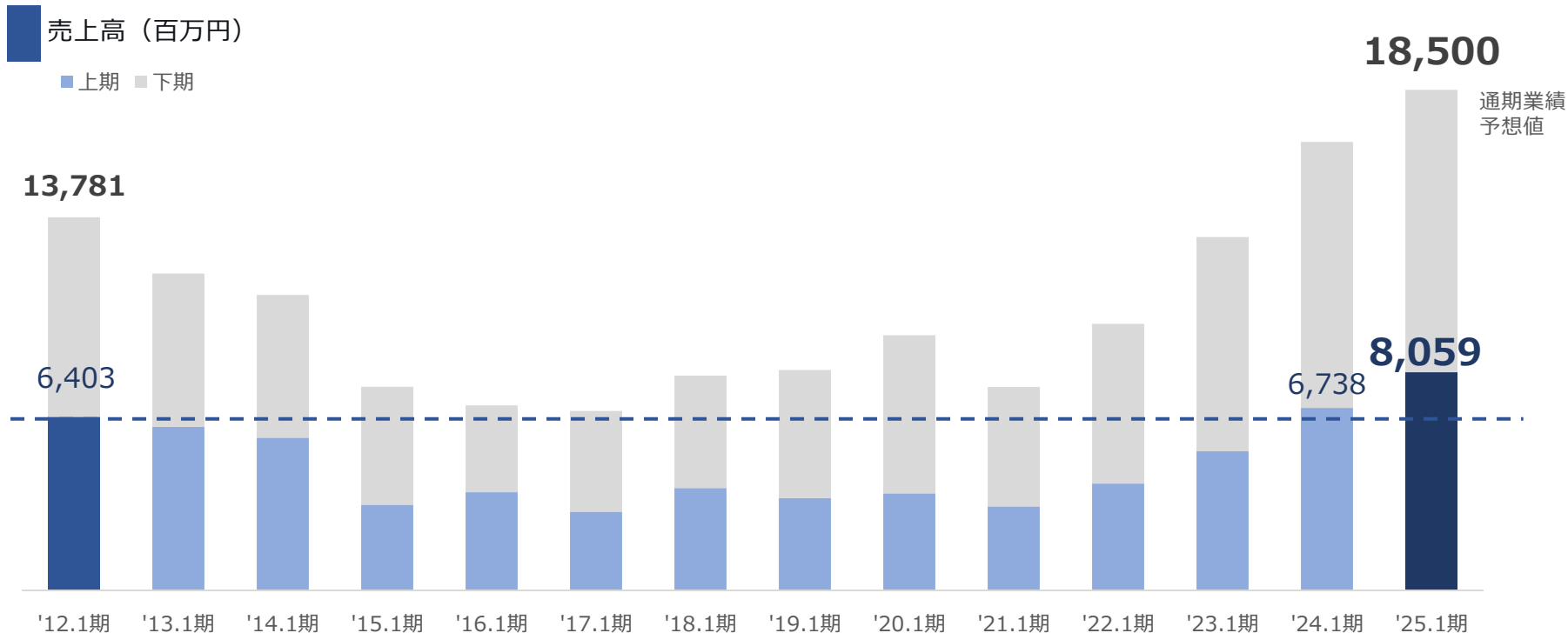
2025年1月期（41期） 第2四半期（中間期）業績

売上高、各段階利益ともに業績予想値より良化して着地

(百万円)	2025年1月期 上期 業績予想値(期初予想)	2025年1月期 上期 業績予想値(修正後)	2025年1月期 上期 実績	要因
売上高	7,000	8,000	8,059	為替影響 +652
営業利益	▲1,630	▲800	▲650	為替影響 ▲60
経常利益	▲1,650	▲450	▲321	
<small>親会社株主に帰属する</small> 中間利益	▲1,700	▲550	▲458	
EBITDA*	(非開示)	(非開示)	1,342	

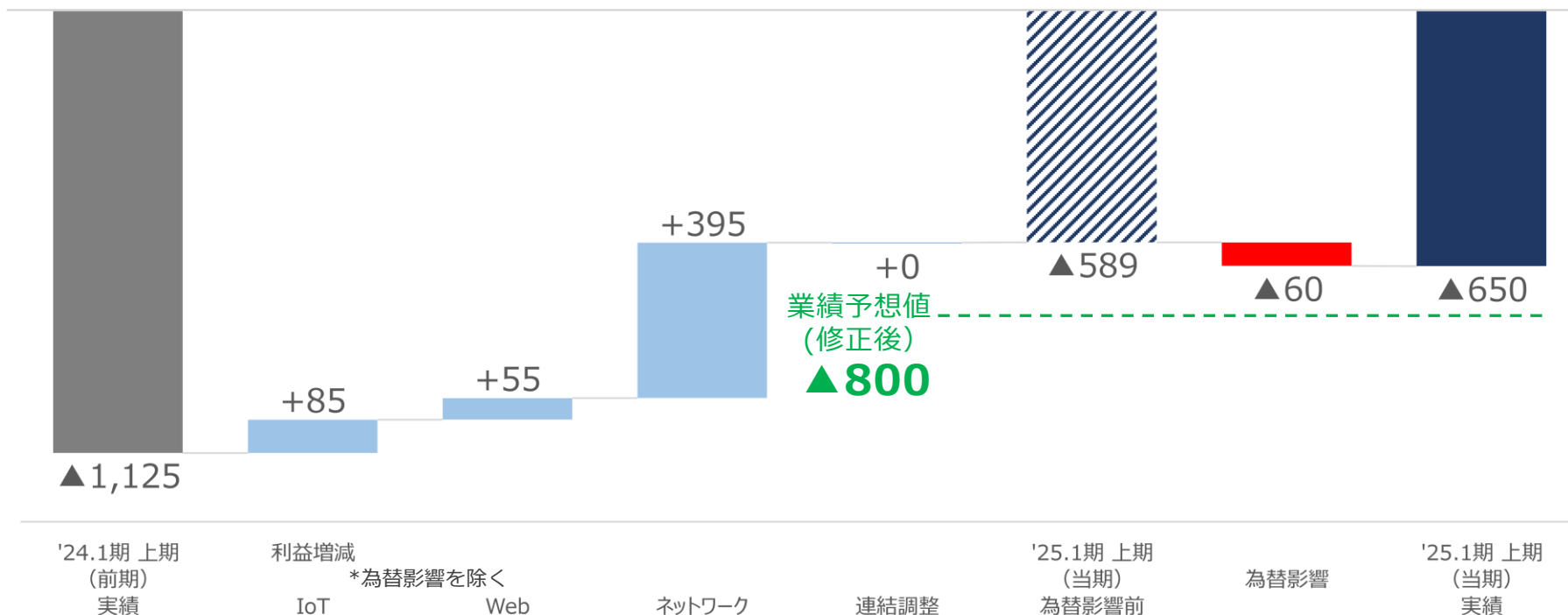
* : EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

- 上期の売上高としては、2012年1月期以降で前年に続き過去最高
- 4期連続で売上成長

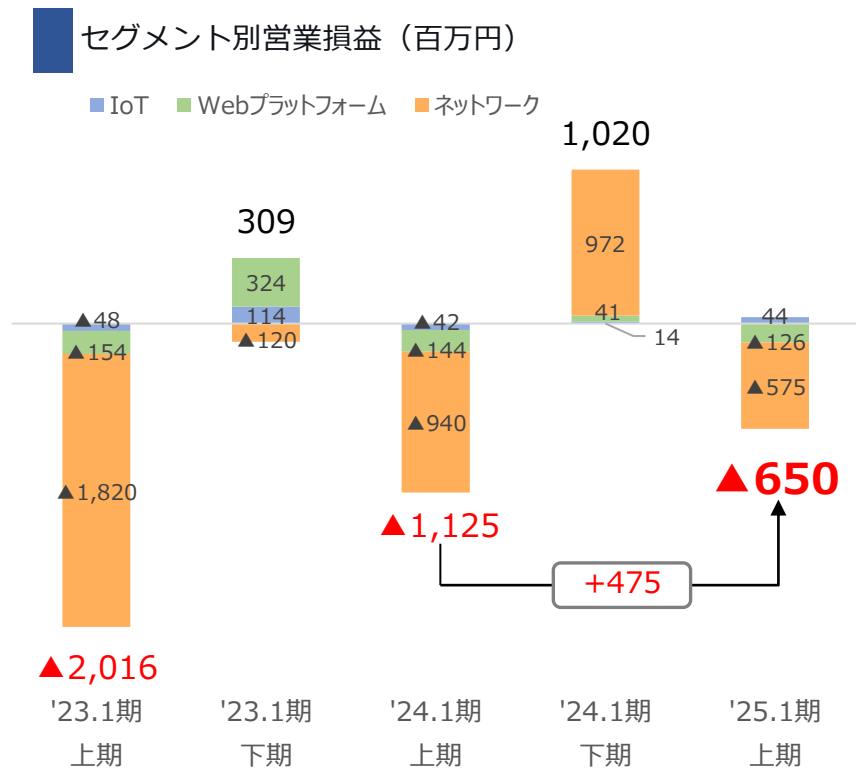
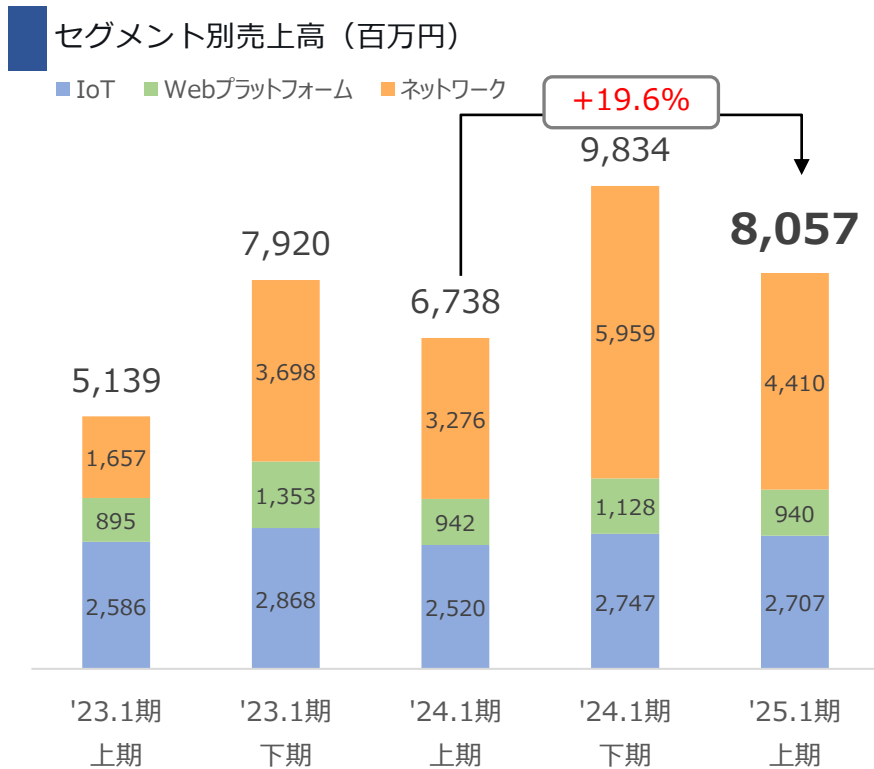


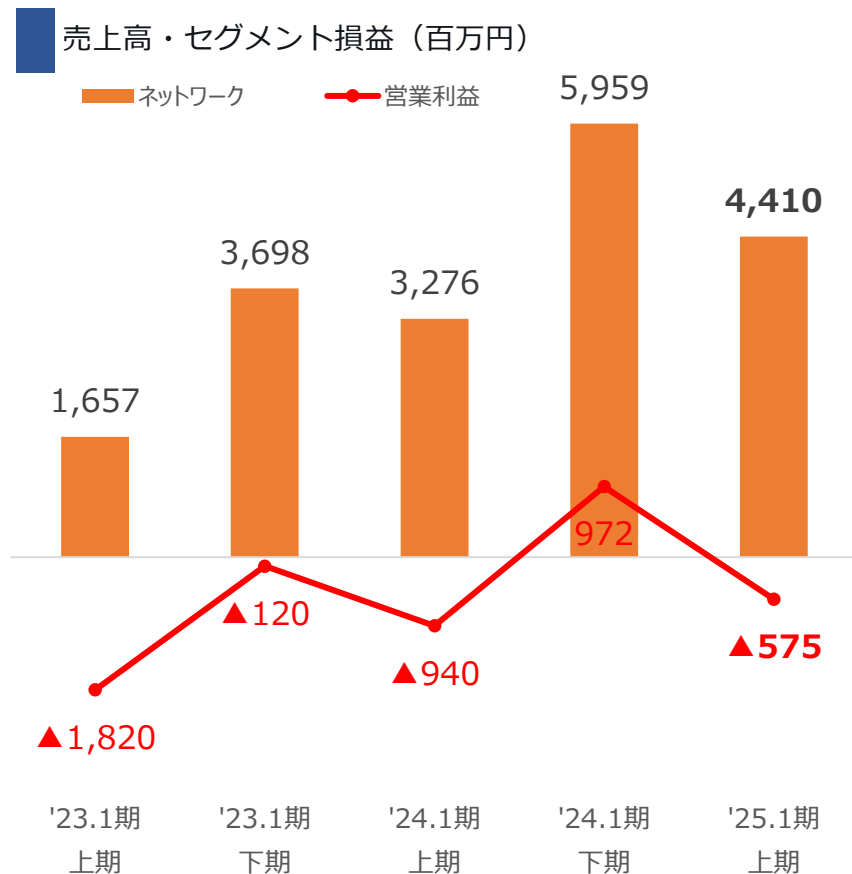
- ・ ネットワーク事業を中心に、全セグメントで損益改善が進展
- ・ 赤字幅は前年同期と比べて大幅に縮小

営業損益（百万円）



ネットワーク事業の伸びが連結売上の成長を牽引

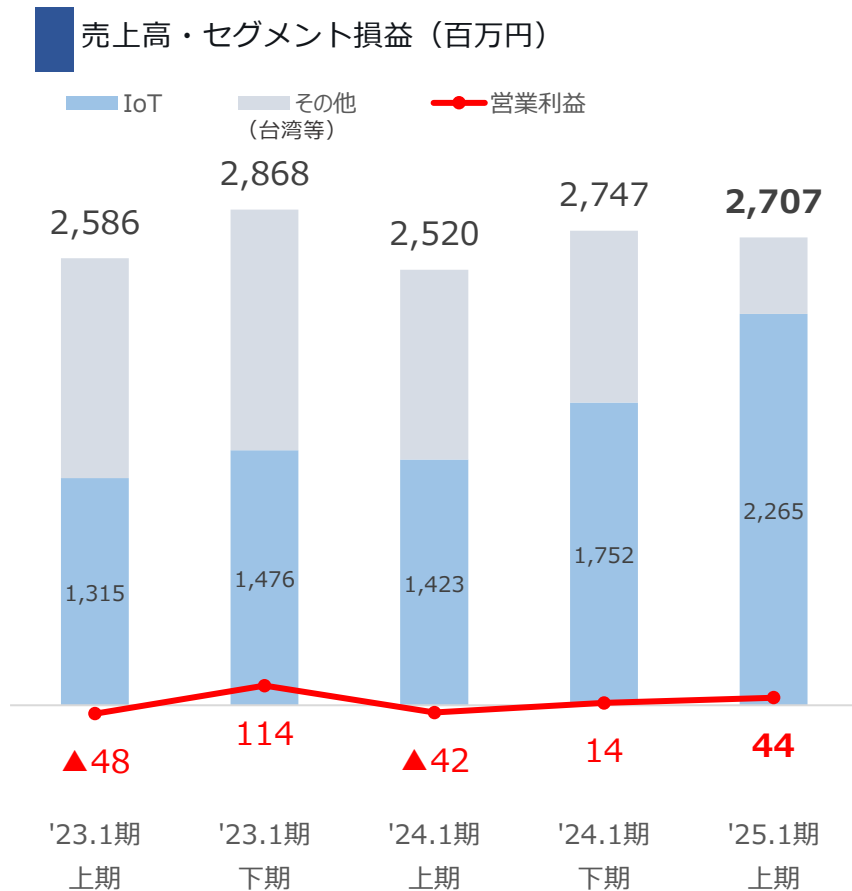




前年同期比で約34%超の売上成長
損益も大幅に改善

ネットワーク事業

- ・ ネットワーク機器業界全体としては想定通り調整局面が続いているが、当社は順調に事業を拡大
- ・ 上半期で新規顧客を52社獲得
- ・ 下期に想定していた案件を上期に前倒し受注したことにより上期業績を上方修正



電子出版事業の分離による減収をIoT分野の成長により補い増収増益

IoT分野

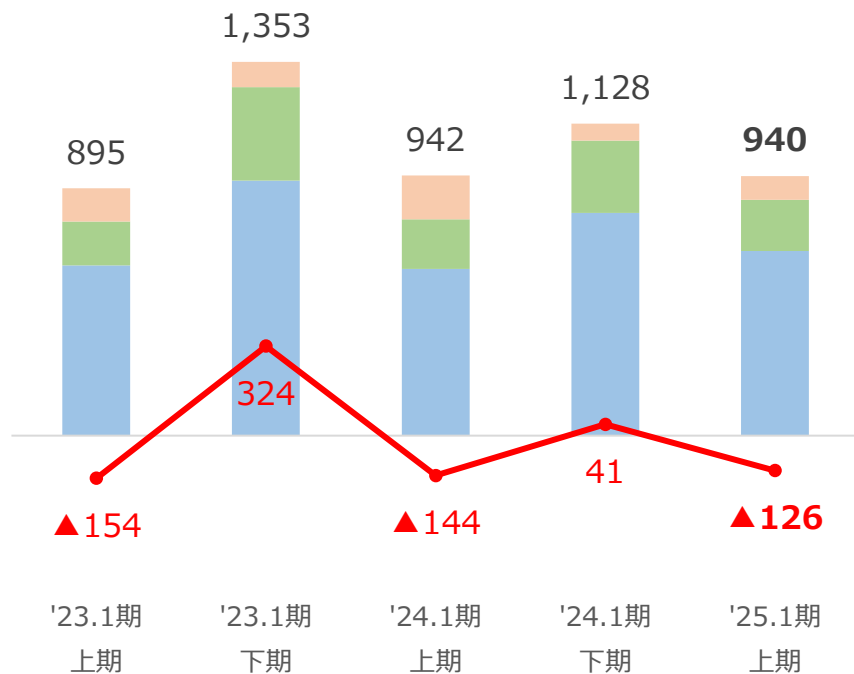
- ・プロフェッショナルサービス*を中心に、前年同期比で59%の売上成長
- *コンサルも含むオーダーメイドの開発案件

その他

- ・台湾事業の損益改善が順調に進展

売上高・セグメント損益（百万円）

■ 日本 ■ 欧州 ■ アジア ● 営業利益



前年と同水準の売上高となったものの 損益は改善

日本

- ・ 車載案件の需要が旺盛で、ロイヤリティを中心に前年比で売上増

海外拠点

- ・ アジア拠点では一部案件で期ズレがあったものの、欧州は前年同水準で推移

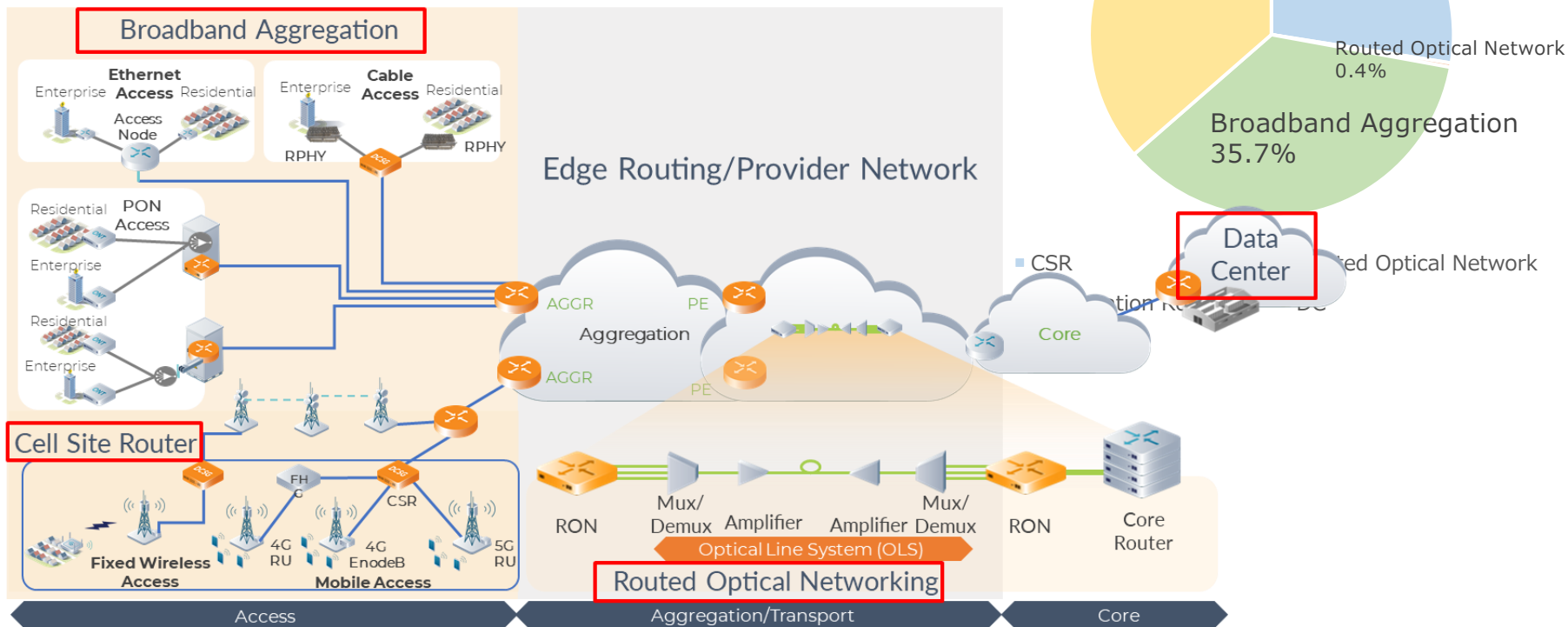
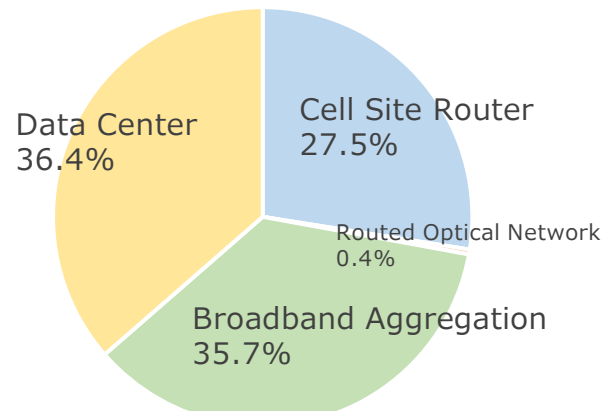
02

事業概況

OcNOSのユースケース別受注構成 (2024年上半期)

- これまではBroadband Aggregation及びData Center向けの受注が多い

累計 受注*構成 (%) *複数年契約も含む





フランスのクラウドプロバイダー兼SIer

Data Center

- 既存のソリューションに代わり、オープンネットワーキングを取り入れたソリューションをデータセンター向けサービスに導入



ベネズエラのサービスプロバイダー

Broadband Aggregation

- 機能の充実、コスト面で顧客から高く評価
- 増加し続けるサービス需要への対応に向け帯域幅の容量を劇的に増加



オーストリアのISP事業者

Broadband Aggregation

- 自社バックボーンネットワークを既存のソリューションからのリプレイスによりアップグレード
- スムーズな移行とアフターサービスを高く評価



カリフォルニア州を拠点とするISP事業者

Broadband Aggregation

- 増大するネットワークニーズに対応するためのインフラ拡張に「OcNOS」を採用
- 既存ネットワークとの相互運用性を備え、オープンネットワーキングプラットフォームを実現



ChatGPT-4o対応の生成AIプラットフォーム「FrascoAITM」を提供開始

「FrascoAI」コンセプト

最短1日で手軽に生成AIの導入テストが可能

- ・ 複雑な契約やシステム構築に要する時間を大幅削減
- ・ チャットAI、AIアバター、管理画面等を一括提供

高度なセキュリティを実装

- ・ 社内データが学習モデルに利用されることはないため
機密保持の観点でも手軽に利用可能



既存製品の事業基盤を維持・拡大しつつ新規領域へのチャレンジを推進

ブラウザソリューションが パナソニック初のFire TV搭載スマートTVに採用

- ・パナソニック社のビエラの新シリーズとなる4K有機ELテレビおよび4K液晶テレビ（7機種）のすべてに当社ブラウザを採用
- ・Fire TVが提供するコンテンツに加えて、テレビ放送とネット動画の一覧表示、スマートホーム家電の音声操作などを融合
- ・家と移動空間またIoT機器や録画機器とのシームレスな連携



動画/コンテンツ配信プラットフォームの ビジネス拡大に向けた協業

- ・台湾のAliと協業し、「ACCESS Twine™ Micro Client」をAliのリアルタイムOS（RTOS）STBプラットフォームに統合
- ・セットトップボックス（STB）向けにクラウドベースのVODとオーバーザトップ（OTT）機能を追加
- ・フランスのDailymotionと車載向けエンターテインメントの提供において協業
- ・「ACCESS Twine™ for Car」と「NetRange Smart TV App Store」に、Dailymotionのアプリおよび動画技術を統合



03

通期業績予想 (再掲)

引き続き売上成長を維持し、5期ぶりに黒字化

(百万円)	2024年1月期	2025年1月期	前期比
売上高	16,573	18,500	+1,926 / +11.6%
営業利益	▲105	500	+605 / —
経常利益	▲12	450	+462 / —
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲280	210	+490 / —
EBITDA*	3,126	4,300	+1,173 / +37.5%

* : EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

全セグメントにおいて売上成長、黒字化を実現

(百万円)		2024年1月期	2025年1月期	前期比
ネットワーク 事業	売上高	9,235	10,000	+764 / +8.3%
	セグメント利益	31	250	+218 / +690.3%
IoT事業	売上高	5,267	6,100	+832 / +15.8%
	セグメント利益	▲27	200	+227 / -
Web プラットフォーム 事業	売上高	2,070	2,400	+329 / +15.9%
	セグメント利益	▲102	50	+152 / -






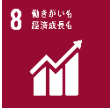


04

Appendix

基本方針

「技術」「知恵」「創造性」と「勇気」で世界を革新し続ける独立系、企画・研究型企業というVision Statementのもと、IoT化を支える技術・製品を開発・提供し続けることにより社会の変革と新たな価値創造に貢献するとともに、ガラパゴス化に陥ることなくグローバルにスケールするビジネスモデルを構築し、企業価値の向上を目指してまいりました。

引き続きこれらの実現に取り組むとともに、持続的な開発目標（SDGs）やESGを経営に取り入れ、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

分類	主な取り組み	関連SDGs/ESG
<p>【Environment】 事業活動を通じて、社会・経済の発展と地球環境の維持・保全を両立した「持続可能な社会の実現」に貢献するため、環境負荷の低減を含めた様々な社会課題の解決に向けた取り組みを推進</p>	<p>温室効果ガスの排出量削減及び省エネルギーに向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TCFD提言に基づく気候関連情報開示 ・オフィスの環境負荷軽減 ・環境関連法規等の順守・教育の実施 <p>事業を通じた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーマネージメントソリューションの開発 ・データセンターへのWhiteboxソリューション導入推進や低消費電力スイッチ・ルーター等の開発 等 	  
<p>【Social】 当社の企業理念実現に向けた人材マネジメントの基本的な方針策定・知的財産に関する基本方針の策定</p>	<p>人的資本に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の尊重 ・ダイバーシティの推進 ・人材育成、働きやすい環境づくり ・健康・安全への取り組み <p>知的財産に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産に関する管理・推進体制の構築 ・他社の知的財産の尊重 ・知的財産に関する継続的な教育 	   
<p>【Governance】 企業価値向上に向けたガバナンス強化・充実施策等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・ガバナンス強化に向けた体制構築 ・定期的な取締役会実効性評価の実施 ・「公正性」「透明性」を確保した役員報酬の決定プロセス構築 ・コンプライアンス・リスク管理委員会による全社的なリスク把握とモニタリングの実施等による内部統制充実 ・各種通報窓口の整備 	

- 本資料に含まれる業績目標等、将来に関する記述については、現時点で入手可能な情報に基づき、当社グループで判断したものです。
- 将来に関する記述には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績は記載内容と異なる場合がございますので、本資料の記載内容に全面的に依拠して、投資等の判断を行うことは差し控えてください。

- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、CROSは、日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの商標又は登録商標です。
- ACCESS Twineは、ACCESS Europe GmbHの欧州連合及びその他の国における商標又は登録商標です。
- IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOS、OcNOSは、IP Infusion Inc.の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。
- その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。

The logo for ACCESS™ is displayed in a dark blue, sans-serif font. The word "ACCESS" is written in all caps, with a trademark symbol (TM) to the upper right of the final "S". The letter "C" in the second "CC" is replaced by a large, light blue sphere with a gradient. Above the second "C" and the "E" are three smaller, light blue spheres of decreasing size, arranged in a diagonal line from bottom-left to top-right.

ACCESS™